

徳之島伊仙町方言（面縄・検福）の動詞活用資料

加藤幹治（東京外国語大学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

1. はじめに

本稿では、徳之島伊仙方言（検福・面縄集落）の動詞活用について報告する。まず言語と資料の概要について簡単に述べたあと、動詞活用の例文資料を提示する。

2. 言語の概要

伊仙町は奄美群島の一つである徳之島の南部に位置し、中でも検福集落と面縄集落は東南部に隣接して位置する（図1）。

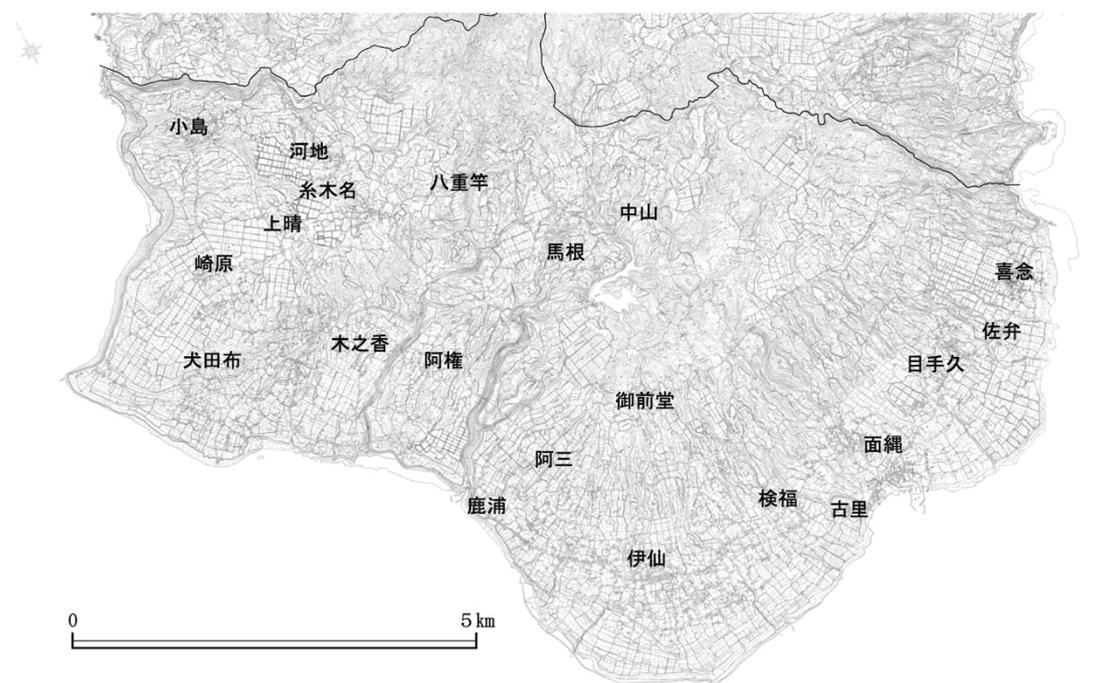


図1. 伊仙町の集落の位置（伊仙町地域文化遺産総合活性化実行委員会（編）(2015)p.13, 図16「集落の位置」）

徳之島方言は系統的に日琉語族・琉球語族・北琉球語群・奄美語に属する（cf. 上村 1997、Pellard 2015、中本 1984）。管見の限り、奄美語内部での他方言との系統的関係に関しては定説がない。伊仙方言の徳之島方言内における類型論的位置づけに言及した研究には、北西・東・南の3群のうち南群に属するとするもの（崎村 1983）と、北・南の2群のうち南群に属するとするもの（平山 1966）がある。ただし、島内での系統的な位置づけに言及した研究は管見の限り存在しない。

筆者の臨地調査から見ると、40代より若い住民同士が伝統的な伊仙方言で会話することは稀であり、薩隅方言と伊仙方言に影響を受けた共通語を使用することがほとんどである。60代以上同士の会話は、公的な場面を除き、伝統的な伊仙方言で行われる事が多い。町内では、「島口つこわデー」（伊仙方言を用いる日）などの方言保存運動があるが、若年層同士の会話が日常的に伝統方言で行われるにまでは至っていないようである。

伊仙方言に関する先行研究を年代順に列挙する。平山 (1966) は分節音韻論・語アクセント・代名詞・動詞屈折の基礎的記述を行っている。崎村 (1981) は語彙集・談話資料・語アクセント・動詞屈折の記述を行っている。Kato (2019) は音韻論・形態論・統語論・語彙集・談話資料の記述を行っている。加藤 (2020) は音韻論・形態論・統語論の記述を行っている。また、琉球諸語に関する総説の一部で伊仙方言が触れられているものとして、仲宗根 (1961) と山田 (1984) が挙げられる。

3. 伊仙方言の音韻論・動詞形態論の概要

伊仙方言は a, i, u, e, o, i, ε の 7 つの母音を持つ。子音は p, t, c, s, k, h, b, d, z, g, m, n, j, r, w, tʰ, kʰ, nʰ, mʰ, jʰ, wʰ の 21 個である。/t/ は無声歯茎破裂音、/c/ は無声歯茎破擦音、/tj/ は無声歯茎硬口蓋破擦音の系列である。名詞アクセントは 3 型である。動詞アクセントは高起/低起の 2 型である。音節構造は単純で、CGVC が最大の形である。ただし、音節末に現れる子音は促音、撥音のみである。

伊仙方言の動詞形態論は、語幹のクラスを 11 種類 (t, s, k, b, g, m, n, j, r, w と不規則) に分けられるという点において、他の奄美諸方言および徳之島方言に比べ単純である。例えば、白田 (2016) は、喜界島上嘉鉄方言の動詞を、その活用によって 20 のクラスに分類している。11 種類の語幹は、大きく分けて子音語幹の規則変化動詞 (規則動詞のうち、j 語幹「煮る」nii 「見る」nii は母音語幹の弱変化動詞と分析することもできる) と不規則変化動詞に分かれる。動詞の活用体系に関しては、基本語幹・融合語幹・連用語幹・音便語幹の 4 つが接尾辞の要求により交替するという立場 (平山 1966)、語幹自体の交替は認めず、形態音韻規則によって表層形が現れるとする立場 (Kato 2019) と、語幹自体の交替は認めず、「脱落音便」を認める立場 (狩俣 2018、ただし北琉球語全般に対して) がある。

以下では、語幹の交替を認める平山 (1966) の立場から動詞活用を概観する。ただし、本稿では、融合語幹・連用語幹の別は認めず、これらをまとめて連用語幹と呼称する。動詞は、語根と派生接辞と屈折接辞からなる。語根と屈折接辞はいかなる場合でも必須の要素である。屈折接辞には、命令 1 -i、命令 2 -ee、禁止 -una、意志勧誘 -a、中止 -i、否定条件 -ama、並置 -aari、連体 -n、連用 -i、強調 -ru が存在する。ただし、強調形を持たない話者も多く、その場合係り結びは起こらない。派生接辞には、使役 -as、受身可能 -ar、進行 -ur、否定 -a/ada、非過去 -jur、過去 -ar が存在し、この順番に承接する。ただし、進行 -ur と非過去 -jur は共起しない。これらの接尾辞のうち、連用 -i は連用語幹を、中止 -i、並置 -aari、過去 -ar、継続 -ur は音便語幹を、それ以外は基本語幹を要求する。どの語幹クラスがどのような交替語幹を持つかを表 1 に示す。

表 1 交替語幹の一覧

語根	基本	連用	音便	語根	基本	連用	音便
打つ (t)	ut	utj	utj	読む (m)	jum	jum	jud
飛ぶ (b)	tub	tud	tud	死ぬ (n)	sin	sin	sizj
書く (k)	kak	kak	katj	居る (r)	ur	ur	ut
為す (s)	nas	nas	natj	煮る (j)	nj	nj	nitj
漕ぐ (g)	kug	kug	kuzj	買う (w)	koow	koo	koot

4. 動詞活用資料の概要

動詞活用資料は、w 語幹動詞 kooi「食べる」、不規則変化動詞 kii「来る」、j 語幹動詞 nii「煮る」の動詞活用を詳細に調査したもの、「どこでも漁をするときは男が船を漕ぐ」から始まり様々の動詞の活用を数個ずつ調査したものの4点を掲載する。

4点のうち「煮る」のみ琉清孝氏（検福集落、男性、1955年生）から収集したもので、それ以外の3点の調査票は全て赤塚文子氏（面縄集落、女性、1936年生）から収集したものである。

動詞活用資料では、音節境界を明示的に示す必要がある場合にピリオドを用いた。例えば、wanja(私は)をワニヤと読ませないために、wan.jaと表記した。この用法の場合、ピリオドは常に語中に置かれる。また、文の終わりもピリオドで示した。この用法の場合、ピリオドは常に語末に置かれる。

参照文献

- 平山輝男 (1966) 『琉球方言の総合的研究』 明治書院.
- 伊仙町地域文化遺産総合活性化実行委員会 (編) (2015) 『伊仙町の文化遺産: 伊仙町における奄美遺産悉皆調査報告書』
- 狩俣繁久 (2018) 「琉球語の動詞活用形の歴史的变化」, 「フィールドと文献から見る日琉諸語の系統と歴史」 シンポジウム発表資料, 2018年12月23日, 国立国語研究所.
- Kato, Kanji (2019) A sketch grammar of the Isen dialect of Tokunoshima, Amami. Master's thesis, Tokyo University of Foreign Studies Graduate School.
- 加藤幹治 (2020) 「徳之島伊仙方言文法概説」 『言語・地域文化研究』, 26: pp. 211-227. 東京外国語大学.
- 中本正智 (1984) 「南島方言の概説」 飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一 (編) 『講座方言学 10 沖縄・奄美地方の方言』, pp. 1-79. 国書刊行会.
- 仲宗根政善 (1961) 「琉球方言概説」 東条操 (編) 『方言学講座 4』, pp. 20-43. 東京出版.
- Pellard, Thomas (2015) The linguistic archaeology of the Ryukyu islands. In: Heinrich, Patrick, Shinsho Miyara, and Michinori Shimoji (eds.) *Handbook of the Ryukyuan languages: history, structure, and use*. 11 of Handbooks of Japanese language and linguistics. 1337. Berlin/New York: Mouton de Gruyter.
- 崎村弘文 (1981) 「徳之島の方言 1 伊仙町目手 久方言の実態」 『鹿児島大学文科報告第1分冊哲学・倫理学・心理学・国文学・漢文学篇』, 17: pp. 1-19.
- 崎村弘文 (1983) 「徳之島の方言 3 徳之島町亀津方言の実態」 『鹿児島大学文科報告第1分冊哲学・倫理学・心理学・国文学・漢文学篇』, 19: pp. 1-17.
- 白田理人 (2016) 「琉球奄美喜界島上嘉鉄方言の文法」, 博士論文, 京都大学.
- 上村幸雄 (1997) 「琉球列島の言語 0 総説」 亀井孝・河野六郎・千野栄一(編) 『日本列島の言語』, pp. 311-354. 三省堂.
- 山田実 (1984) 「奄美諸島(属島)の方言」 飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一(編) 『講座方言学 10 沖縄・奄美地方の方言』, pp. 151-167. 国書刊行会.

徳之島伊仙町面縄2019年11月8日調査、赤塚文子、1936年生、女		
1-1	本土の人もニガウリを食べるの？	jamatuntjuma gaura kooiga
2-1	うん、本土の人はニガウリは食べない。	aran jamatuntjuja gauraja koowan
3	我が家では、夏になったら、毎日ニガウリを食べる。	wakkja jaananti nacunen icima gaura kooi
4	今日の朝ごはんは何を食べたの？	kjuuja insjarunen nuu kootanga
5	冬瓜を食べた。	toogan kootan
6	姉さんは食べなかった。	wakkja akaja koowadatan
7	このサトイモは誰が食べるの？	kun un.ja tanga kooi
8	姉さんがこそ食べるんだ。私はたべない。	akagadu kooi. wan.ja koowan
9	お前が天ぷらを全部食べただろう？	uraga tenpura muuru kootanwaa
10	私は一つだけ食べたんだよ。	wan.ja tindu kootan
11	残ったテンブラは、全部母さんがこそ 食べよったんだ。	nukutan tenpuraja muuru amagadu kootan
12	父さんもバナナ食べるかなあ。	azjama basja kooigajaa
13	父さんも食べるだろう／食べるはず。	azjama kooisaree/kooihazi
14	お前もバナナを食べるだろう？	urama basja kooi saree
15	誰がお菓子を食べたのかなあ。	taruga kwasi kootangajaa
16	お菓子は妹が食べただろう／食べたはず。	kwasiya uttuga kootanhazi
17	そこに置いた魚は誰が食べよったの？	umanan atan j'uu taruga kootanga
18	犬が食べよったのかな。	inga kootangajaa
19	隣の猫が食べよったはずよ。	tunarinu majuga kootanhazidaa
20	食べるなっていったのに、食べたのか？	koounatji itjamun kootanga
21	兄さんが食べよったから、私も食べたんだよ。	miiiga kootutamunaati wanma kootan
22	兄さんが食べよったの？本当なの？	miiiga kootanga? hontosee?
23	兄さんは三つも食べよった。	miiija miicumaa kootan
24	ねえさんも食べよっただろう？見たらどう？	akama kootjutanzjaroo? nitjutagajaa?
25	昨日食べたソバはおいしかった。	kinjuu kootan soba maahatan
26	今日も一緒に食べよう。	kjuuma mazin koowadi
27	今日は名護に食べに行こう。	kjuuja nagoka kooiga ikadi
28	ご飯を食べながらテレビを見るな。	munu kamigatjanan terebi njuuna
29	もう片付けるから、急いで食べる。	j'aadu katazikirjumunnaati ida kooweehee
30	ぜんぶ食べるまで待ってちょうだい。	muuru koojuntee matji kuirehee
31	お前が 食べきれないなら、俺が食べよう。	uraga kooikiranmun waga koowa

32	これは 私が 食べる。	kurija waga kooi
33	食べるなら残すな。残すなら食べるな。	kooi natika nukusuna. nukusi naatika koouna
34	明日食べるコメを買ってきて。	attja koojun kumi kooti tjii
35	おじいさんはご飯を食べて薬を飲みよったか。	hussjuja mun kooti kusuri nudanga
36	おばあさんは昼ごはんを食べて、それから畑に行った。	hansjarija assi kooti, umakara hattee izjan
37	兄さんは昼飯を食べてから畑に行った。	mijja assi kootikara hattee izjan
38	明日もサシミを食べるから、買って来い。	attja namasi koojumun kaati tjii
39	今日食べたから、明日は食べなくてもいい。	kjuu kootaatu attja koowadima jutan
40-1	※飯を食べると眠くなる	uban kootika agumaaku nari
41-1	子供はご飯を食べないと大きくなる	waarenkajaja uban koowama hutoran
42-1	加藤さんは食べ物を食べても太らない	katoosan.ja mun kootima hutoran
43-1	腐ったものを食べれば腹が痛くなる	kusaritamun kootika wata jami
44-1	カビが生えたものを食べたのに腹が痛くならなかった	koozi meetamun kootasiga wata jamadatan
45	クワンソウを 食べなかったのに よく 眠れた。	
46	私は、クワンソウを食べなくても眠れる。	
47	肉は よく 食べるのに 野菜は ぜんぜん 食べない。	antjuja sisi juu koojunga jasee mattaku koowan
48	今日買ったキャベツはおいしいから、食べてみる。	kjuu kootan kjabecu maamunnaati kootjinii
49	その腐った豆腐は食べるな。	un kusaritun toohu koouna
50	何故 ヤギ汁を 食べないの？ おいしいくないの？	nuu naati jaagiziru koowanga? maakunenga?
51	腹いっぱいだから 食べないんだ。ヤギ汁は好きだよ。	wata mitjunmunnaati koowandaa. jaagiziruja sukkjun
52	姉さんも食べなかったらう／食べなかったはず。	akama koowadatan hazi
53	お腹が痛かったから、食べなかったんだよ。	watanu jamjunmunnaati koowadatanhazidaa
54	お前もヤギ汁は食べないんだろう？	urama jaagiziru koowanjaroojaa
55	父さんも食べないだろう／食べないはず。	azjama koowanjaroo
56	父さんはヤギ汁を食べないかなあ。	azjaja jaagiziru koowankajaa
57	もし おまえが 食べなかったら ヤギ汁は 残るだろう。	uraga koowadatika zaagiziru noorizjaroojaa
58-1	※本土の人はニガウリを食べないの？	jamatuntjuja gaura koowanga?
59	食べるっていったのに、食べなかったのか？	koowitji itjamun koowadatija
60	粥が残っているけど、誰が食べなかったの？	okaisan nooritunsiga taruga koowadatanga
61	お前もお粥を食べなかったんだろう？	urama okaisan koowadatansee
62	何故、お菓子を食べなかったのかなあ。	nuunaati kwasi koowadatangajaa
63	誰も 食べないのに 芋を 煮た。	taruma koowamun jan waatji

64	誰も食べない物は買ってはいけない。	taruma koowanmun kootika ikan
65	ぜんぶ食べないうちに 片付けられた。	muuru koowan utji katazikiratti
66-1	※ご飯を食べなかった子にはお菓子をあげない	mun koowadatan kwaaninja kwasi neeran
67	おじさんは夕ご飯を食べないで眠ろうとしていた。	hussjuja juuwahi koowadi nimbitji sjuuti daa
68	今日は肉を食べないから、買って来るな。	kjuuja sisi koowamunnaati kootikuuna
69	昨日魚を食べなかったから、今日は食べよう。	kiinju j'uu koowadatanmun kjuuja koowadi
70	残したらもったいないから、食べないなら炊くな。	nootjika ikan koowamun cukuruna
71	もし おまえが 食べないなら ご飯は 炊かないよ	uraga koowadatika uban waasan
72	お祝いのごちそうは、私が食べる前に 無くなっていった。	gotjisooja waga koojunmee muuru kootan
73	姉さんが東京から来る。	akaga tookjookara kii/kiidaa
74	姉さんは いつ 来るの。(明日、来る。)	akaja ici kiigaa (attja kii)
75	姉さんの旦那(夫)も来るの?(うん、来るよ。)	akaga wutuma kiijaa? (un kiidaa)
76	姉さんたちが来るから、孫も来るだろう。	akata kiinati maagama kiizjarooodaa
77	孫たちが来たら、いっしょに遊ぼう。	maagankjanu tjiika mazinnan asiba
78	大阪の兄さんは来ないだろう/来ないはず。	oosakanu miija kunjjaroojaa
79	なぜ 来ないの。	nuunaati kii arangajaa/kungaa
80	忙しいから、来ないんだ。(来たくないわけじゃない。)	isjugamunati kunjaree (kiitjakunen ja aransiga)
81	姉さんたちが来るなら、ご馳走をつくっておこう。	akataga kiinatikara maamunkja cukutukaja/cukutukanbaja
82	おじさんも来ないの?	uzima kiieran.jaa
83	うん、おじさんは仕事があるから、来ない。	un uzija sigjutunu anmunnati kun
84	おじさんが来ないから、おばさんも来ない。	uzinu kundan uubama kun
85	姉さんたちは空港からバスで来るんだ。	akataja hikoozjookara basusi kiidaa
86-1	*姉さんたちが来ないうちに家の中を片付けよう	akataga kun utjin jannaa katazikira
87	孫たちが来たから、一緒に遊んだ。	maagankjanu tjaatu mazinnan asidi
88	姉さんたちは飛行機で来て、船で帰った。	akataja hikookisi tjii hunisi izi/izjan
89	いどこにも来っていったのに、来なかったのか?	itokonima kuutji tjamun kuudatijaa?
90	いどこは来月沖縄に来てから、仕事を探そうだよ。	tokoja raigecu naawaka tjiigeekaara sigjutu tumiri janbee
91	あさっては、家にいないから、来るな。	asatija jaanan uramunnati kungon see
92	今日は来なくてもいいって言ったのに、来たのか?	kjuuja kuudati t'antji itjamun tjijjaa
93	なぜ、来たの。	nuunaati/nuusiga tjanga?
94	急ぎの用事があったから、来たんだよ。	isjugarjun juuzinu atatu tjandaa
95	昨日は来なかったんだろう?	kiinuja kuudatan hazi zjaga

96	なぜ来なかったの？	nuunaati kuudatanga
97	忙しかったし、頭も 痛かったから、来なかった。	isjugaati ukkanma jamjutaatu kuudati
98	しあさっては君も来るだろう？	attjaasatija urama kjun zjaroojaa
99	サンバ、今年は 来なかったねえ。	t'aaja kutusija kuudatanwajaa
100	何故、来なかったのかなあ	nuunaati kuudatangajaa
101	今年は台風が多かったから、来なかったんだよ。	kutusi kazinu huuwatatu kuudatandaa
102	サンバ、来年は 来るかなあ。	t'aaja jaanija kjuuruwaa
103	もうサンバは来ないかなあ。	n'jaa t'aaja kunwaa
104	サンバ、去年は来よかったよ。	t'aa kuuzuja tjuutasiga
105	そうか。来よかったんだ。(私は見なかったけど)	ugasi tjuutandaa (wan.ja njaadatasiga)
106	いつ来たのかなあ。	icinben tjanga jaa
107	だったら、今年は、来なくても、来年はくるかもしれない。	ugasi jaatika kutusi kuudatima jaanija kjuunga daara wakaran
108	今年は来なかったのに 来年は来るの？	kutusija kundatasiga jaanija kiiija
109	むかし、来なかった年もあったよ。	mukasi kuudatan tusima atandaa
110	郵便屋はさっき来たよ。	juubinhaitacuja saki tjandaa
111	郵便屋は来よかったの？本当なの？	juubinhaitacuja tjanwaa?/tjuutijaa? huntoja?
112	郵便屋が 来よかったから、手紙があるんだよ。	juubinhaitacuga tjankja/tjankjadu tegaminu andaa/anzjaroojaa
113	誰も 来ないのに 店を開けているの。	tanma kunmungan eeturijaa
114	客が来るなら 店を開ける。	kjakunu kjuutikara mise eeri
115	もし 客が 来ないなら 店を閉めよう。	mosi kjakunu kuudatikara misi kuuwa
116	夕方には客が来るだろう／来るはず。	kurigurinija kjakunu kjunzjaroojaa
117	今から来る人にはサービス(おまけを)しよう。	j'aakara kjun tjuunen.ja makira
118	何人、来よかったの？	ikutaari tjanga
119	私が言った通り、来よかったらう？	waga itjanganesi/itjantuuri tjaarajaa
120	うん、昨日、来た人が今日も来よかった。	un kiinu tjan tjuunu kjuuma tjii/tjuutan
121	夜になって 誰も来なかったから、閉めた。	juuru natatu tanma kuudatatu kuuti
122	以前からサービス(おまけ)をしていれば、客はもっと来よかったらう	meeekara makitutika kjakuja n'jaanin kjuutan zjaroojaa
123	サービス(おまけ)していたら、来よかったのかな。	n'antan makitatika kjuutanwaa
124	うん、もう少しは客が来ただろう／来たはず。	un n'jangwa/n'jaaningwaja kakjunu kjuutaroojaa
125	客が 来ない 店は つぶれる。	kjakunu kun misija cuburiri
126	あの子は学校に来ないで、家で休んでいる。	ankwaaja gakkooka kungon jaananti jasuduri
127	学校に来ながら、友だちの家に行ってみた。	gakkooka kiigatjan dusin jaa iziniitji

128	友だちを連れて学校に来い。	dusi sooti gakkooka kwaa
129	島に来なければ、島のいいところはわからない。	simaka kunba simanu ii tooka wakaran
130	船が来るまで港で待とう。	huninu kjuntan minatonanti mata
131	もし バスが 来なかったら タクシーに乗ろう。	mosi basunu kuudatika takusiinan nura
132	せっかく島に 来たのに 雨ばかり降っていた。	tamatama simaka tjanmun am iben hututi
133	来年も二人で一緒に来よう。	jaanima wanten mazinnan kuudee
134	私たちが来れば、太郎も来るって言っていたよ。	waakjaga tjiika tarooma kiiitji itjutandaa
135	来年 来れなくても、再来年は みんなで来よう。	jaani kuuradatima j ² aaintju muurusi kuu
136	魚をたくさん釣って楽しかったから、来年も来よう。	j ² uu teegee waatji miziraatatu jaanima kuu
137	あいつは友達が家に来ても、お茶も出さない。	anmun.ja dusinu jaaka tjanten tjaama izjasan
138	あいつは 友だちが 来るのに お茶さえ出さないのか？	anmun.ja dusinu kjunmun tjaatjon izjasamun.jaa
139	だから、今までだれも来なかっただろう／来なかったはず。	ugasinati j ² anten tanma kuudatanzjaroojaa
140	おまえ昨日も来ただろう？(うん、来たよ。)	ura kiinuma tjaarajaa (un tjandaa)
141	明日は来ないんだろう？(うん、畑に行くから来ない。)	attjaja kun zjaroojaa (un hatteeka ikinati kuuraran)
142	子どもが来ない前(来る前に)に お菓子を用意しておこう。	waarenkjanu kunmεε kwasinkja jooi sjunka
徳之島伊仙町検福 2019年11月15日調査 琉清孝 1955年生 男		
143	今日は何を煮るの？	kjuuja nuu niiga
144	今日は、昨日掘ったサツマイモを煮る。	kjuuja kiinu hutan jan niida
145	この鍋で煮るの？	kun naabisi niijaa?
146	うん、小さいからその鍋では煮ない。	kun naabija gunjamunnaati nii aran
147	どうやってたくさんサツマイモを煮るのかなあ。	ikjasi teegee jan niigajaa
148	今日はいかぼちやを煮ないの？	kjuuja tocciburu nii aran.jaa?
149	昨日煮たから、今日は煮ないんだ。	kiinu nitjaatu kjuuja niiarandaa
150	冷蔵庫に豚肉があるのに 何故煮ないの？	reezookonan w ² aasiga anmun nuunati njanga
151	きのうも豚肉だったから、今日は豚肉は煮ないんだろう？	kiinuma w ² aasisi jatatu kjuuja w ² aasi niianandaa
152	大根も一緒に入れて煮ないかなあ。	deekuninma mazin iri nii anan.jaa
153	ゴボウは煮ないだろう／煮ないはず。	gobooja nii anansanee/nii ananhazi
154	そうか、好きじゃないから、ゴボウは煮ないんだ。	ugasija sukamunnati nii anandaa
155	今日 煮ない豚肉は 冷蔵庫に 入れておけ。	kjuu njan w ² aasija reezookonen irituki
156	今日の里芋は誰が煮たの？	kyuunu janja taruga nitjanga
157	その里芋は 母さんが 煮たんだ。私じゃないよ。	un un.ja amaga nitjanhazi. wan anandaa
158	母さんが煮たんだろう？	amaga nitjan

159	母さんが 煮た 里芋は おいしかったねえ。	amaga nitjan un.ja maahatandaa
160	豚肉が冷蔵庫にあるけど、何故豚肉を煮なかったの？	w'aasi reezooko atamun nuunati w'aasi njaadatanga
161	鶏肉が食べたかったから、鶏肉を煮た。	turin kooitjaatatu turi nitjan
162	鶏肉は煮たけど、豚肉は煮なかった。	turija nitjansiga w'aasija njaadati
163	昨日も豚肉を煮たから、今日は煮なかったんだろう？	kiinu w'aasi nitjaasiga kjuuja njaadatijaa
164	一昨日も豚肉だったから、昨日は煮なかったんだよ。	uttija w'aasi jatatatu kiinuja njaadatandaa
165	もし おばあさんが 煮ないなら 誰が 煮るの？	hussjuga njaadatika tanga niiga
166	姉さんが煮るだろう／煮るはず。	akaga nii saree/njuuhazi
167	お前も時々は煮るだろう？	urama niisaree
168	何故、豚肉は煮なかったのかなあ。	nuunaati w'aasi njaadatangajaa
169	誰がカボチャを煮たのかなあ。	tanga toociburu nitjanga
170	そのカボチャは母さんが煮ただろう。	un toociburuja amaga nitjan hazi
171	姉さんは煮なかっただろう。	akaja njaadatan hazi
172	母さんが煮るカボチャは甘くておいしい。	
173	母さんが煮れば、みんな残さず食べる。	amaga nitjika muuru noosangon koojun
174	鍋にあったトウガンは誰が煮よったの？	naabini atan siburi taruga nitjanga
175	さっき台所にいた姉さんが煮よっただろう。	sakintee situbinan utan akaga nitjan hazidaa
176	サトイモを煮ろっていったのに、煮なかったのか？	un niitji itjamun nuunanti njandatanga?
177	兄さんが煮よったから、私は煮なかった。	miiga waatjatatu wan.ja njandati
178	兄さんが煮よったの？本当なの？	miiga waatjija? hontosee?
179	兄さんは食べきれないくらい煮よった。	miï kooikiransanben nitjaatan
180	何故あんなにたくさん煮よったのかな。	nuunaati agasangan teegee nitjangajaa
181	里芋を煮ながら テレビを見るな。	un niigatjanaan terebi niitjika ikandaa
182	ぜんぶ煮ないうちに 火が消えた。	muuru njan utjin m'aaciga kiiti
183	ゴボウは煮るなっていったのに、煮たのか？	goboo niitjika ikan tji itjamun nittjija?
184	誰も 煮ないのに 魚を 買ってきた。	tanma njanmun j'uu kooitjii
185	魚を煮ないで、何を煮るの。	j'uu njangon nuu niija
186	少しか 煮なかったのに 柔らかく なっている。	njangwasika njaadatamun teegee jawaraaku naturi
187	タコは煮る前に 塩で揉んでから煮ると柔らかくなる。	tooja njunmee maasjusi mudikara nitjika jawaraaku nari
188	魚を煮るなら、もう少し大きい鍋を使え。	j'uu niijatika n'angwa hutteejan nabi cukowi
189	母さんもそうやって煮よっただろう？見ただろう？	amama ugasi nitjazaroojaa
190	今日は 豚肉は 煮ないから、買って来るな。	kjuuja w'aasi njanmunnanti kooiti kuruna

191	昨日は、煮なかったから、今日煮よう。	kiinu njaadataatuja kjuu njaadi
192	大根は、肉も入れて煮なければ、美味しくない。	deekunija w ² aasima iriti njandatika maakunendaa
193	もし おばあさんが 煮なかったら 誰も 煮ないだろう。	jatasi hansjariga njaadatika taruma njanhazi
194	おばあさんが煮ないなら、私たち二人と一緒に 煮よう。	hansjariga njaadatika wanten t ² aarisi njaadi
195	今日は おまえが 煮ろ。	kjuuja uraga nitjinee
196	お前が 煮ないなら、俺が煮よう。	uraga njaadatika waga niidaa
197	これは 私が 煮る。煮よう。	kurija wanga nii
198	せっかく、私がサトイモを煮たのに誰も食べなかった。	waga un nitjamun taruma koowadati
199	魚ぐらいたまには自分で煮てみる。	j ² unben jatika duusi nitjinee
200	魚を全部煮るまで待ってくれ。	j ² uu muuru njunte matjuti kuiru
201	全部煮なくても家族の分はあるよ。	muuru njandatima jautjinu bun.ja andaa
202	魚を煮るなら、塩を少し入れろ。	j ² uu nii jatika maasju njangwa niirama ikan
203	大根を煮てから、味噌汁も作った。	deekuni nitjigen misosiruma cukutan
204	父さんは自分で魚を煮て酢の物を作った。	azjaja duusi j ² uu nitji sunomono cukutan
205	明日はゴボウを煮るから、買って来い。	attja goboo njunken kootikuu
206	肉とゴボウを煮たら、アクがたくさん出る。	w ² aasitu goboo nitjika akuga teegee izirjun
207	弟が魚を煮ても、だれも食べない。	uttuga j ² uu nitjima taruma koowan
208	その魚は腐っているから煮るな。	un j ² uuja kusatumun naati nitjika ikandaa
209	大根は よく 煮るのに 冬瓜は あまり 煮ない。	deekunija juu njuusiga siburija j ² anma njan
210	全部母さんがこそ 煮よったんだ。	muuru amagadu njandaa
211	トウガンはおばあさんがこそ煮るんだ。ほかの人は煮ない。	siburija hansjarigadu nitjaaru hukantjuja njandaa
212	雑炊を煮なかった日は、ご飯を炊いた。	doosuban njandatan dukin.ja uban tatjandaa

徳之島伊仙町面縄2019年11月8日調査、赤塚文子、1936年生、女		
1-1	※どこでも漁をするときは男が船を漕ぐ	daanantima j [?] uu turjun dukin.ja inganu huni kugi
2	若いときはみんなで舟を漕いだ。	waahan dukin.ja muurusi huni kuzi/kuzjandaa
3	今でも女は舟を漕がない。	j [?] aadu jaatima unaguja hunija kugan
4	今日は手が痛いので、舟を漕げない。	kjuuja tiinu jamjumnunati huniija kugaran
5	病気が治ったから、舟も漕げる。	jaminu nootatu hunima kugarjuri
6	明日も海へ行く。	attjama unka iki
7	父は天気が悪いときは海へは行かない。	azjaja tenkinu wassan dukin.ja unkaja ikan
8	昼間仕事をして、夜遊びに行った。	hirun eeja sigjutu sii juuruja asibiga izi
9	今日は叔父が家に来る。	kjuuja uzinu jaaka kii
10	叔母は来ない。	ubaja kii aran /ubaja kun
11	祖父は叔父に電話をしていところを 来させた。	hussjuja uzinen denwa sii itoko kusatjan/kuusatji
12	孫も来たがっていたので、来させた。	maagama kiitjantji itjaatu kuusatjan/kuusatji
13	叔父もいとこもバスから来た。	wuzima itokoma basusi tjii/tjan
14	崖の側は危ないから、子どもは来るな。	kanparanu subaja oosjamunnati waarenkjaja kun gon see
15	5月はよく雨降るねえ。	gogacuja juu ami hurjusaja/hurjuri
16	12月は雨降らないよ。	zjuunigacuja ami huran
17	昨日も大雨が降った。	kinuuma uuami huti/hutasaja
18	あ、雨 降ってきた。	a aminu huti tjii
19	大雨が降ったので、橋が流された。	uuaminu hutaatu hasinu nagasati
20	太郎は毎日学校の前でバスから降りる。	tarooja icima gakkoono meenanti basukara uriti
21	友人がさきにバスを降りた。	dusinu saki basukara uriti/uritan
22	このバス停では誰も降りない。	kumanu basuteenantija tanma uriran
23	熟したら、木の実は自然に落ちる。	udika kinnarija hantiri
24	青い実は木を揺らしても、落ちない。	aoka narija kii kuzima hantiran
25	木を揺らしたから、落ちた。	kii kuzjaatu hantiti
26	オスの馬もメスの馬も人を蹴る。	uu m [?] aama mii m [?] aama t [?] juu kirjuri
27	おとなしい馬は人を蹴らない。	jooringwa sjun m [?] aaja t [?] juu kiran
28	あのおとなしかった馬が人を蹴った。	an utunaatan m [?] aanu t [?] juu kiti
29	父は去年買ったものでも捨てる。	azjaja kuuzuu kootamun jatima hannaqiri

30	まだ使えるのにラジオを捨てた。	j'aadugan cukowarjumun razio hannnagiti
31	祖母はどんなに古くても、捨てない。	hansjarija ikjasi huruwaatima
32	父は壊れたラジオを弟に捨てさせた。	azjaja kunzutan razio uttunen hannaqiracjan
33	誰にも聞かないで、捨ててしまった。	tannema kikangon hannagiti
34	ノギリで枯れた木を切る。	noogirisi karitan kii kiri
35	きのう枯れた木の枝を切った。	kiinu karitan kiinu juda kitji/kitjan
36	おじさんが一緒に切ってくれた。	uzinu mazinan kitji kuiti
37	こわくて、誰もガジュマルを切らない。	utusjan tanma cinba kiran
38	穴はスコップで掘る。	miija sukoppusi huri
39	お父さんは掘るけど、お母さんは掘らない。	azjaja hurjusiga amaja huran
40	二人でとても深い穴を掘った。	t'aarisi ikjasi hukan miï huti/hutan
41	お父さんに頼んで兄さんにも掘らせた。	azjani tandi miinima hurasatji
42	木の実が熟したのに、祖父は自分では落とせない。	kinnarinu udamun hussjuja duusija hantusaran
43	祖父が父に言いつけて兄に木の実を落とさせた。	hussjuuga azjani iicikiti miinen kinnari utusatji
44	父が兄に棒で木の実を落とさせた。	azjaga miinen buusi kinnari utusatji
45	兄が熟んだ木の実を全部落とした。	miiga udan kinnari muuru ututji
46	掃除の時には荷物を外に出す。	soozinu tukija nimocu sutuka izjasi
47	弟も台所にあった荷物を外に出した。	uttuma sirubinan atan nimocu sutuka izjatji
48	祖母が母に言いつけてホースで水を流させた。	hansjariga amani iicikiti hoosusi mizi nagasatji
49	母が花子にホースで水を流させた。	amaga hanakonon hoosusi mizi nagasatji
50	父が兄に言いつけて祖父を起こさせた。	azjaga miini iicikiti hussjuu uusatji
51	父が兄に寝ている祖父を起こさせた。	azjaga miini nindun hussjuu uusatji
52	兄が寝ていた祖父を起こした。	miiga nindutan hussjuu uutji
53	弟は左利きだけど右手でお箸を持つ。	uttuja hidarikiki jaasuga migitisi hasi mutji
54	汁鍋はこぼれやすいから、片手では持つな。	siinaabi hankariri jaasamunnaati katatisi mucuna /siinaabi hankariri jaasamunnaati katatisi mutji ikandaa
55	おにぎりの入った重箱はお母さんが持った。	nigirinu hwettjan zjuubakoja amaga mutji
56	おばあさんにはお茶を持ってもらった。	hansjarinin.ja tjaa mutji moroti
57	おじいさんにはムシロを持たせる。	hussjuunija mussjuu mutasi
58	重いけどもって持てる？	ubuhaasiga n'aanin mutarjurijaa
59	あと一つだったら持てる。	atu t'in jaatika mutarjuri
60	いつも豚肉はお父さんが買う。	icima w'aasisija azjaga kooi

61	他には何も買わない。	hukanan.ja nuuma kooi aran
62	お父さんは昨日は野菜を買った。	azjaja kiinu jasseε kooti
63	明後日が給料日だから、明日は買えない。	asaatija kjuurjoobinaati attjaaja koowaran
64	明後日だったら欲しいものが買える。	asaatijaatikara husjamun koowarjun
65	お父さんは取ってきた魚を売る。	azjaja tutitjan j'uu uri
66	きょうは魚が少ないから、売らない。	kjuuja j'uunu ikkjaamunaati uri aran
67	昨日は私が取ったイカとタコを 売った。	kiinuuja waga tutan ikjatu too uti
68	その魚を安く売ってください。	un j'uu jasu jaasi uti kuirannaa
69	いつもおばあちゃんは私にお金をくれる。	icima hansjarija wannin kani kuirjuri
70	今日は弟にも1000円くれた。	kjuuja uttuninma sen jen kuiti
71	おじいちゃんは私に何もくれない。	hussjuuja wannin.ja nuuma ku iran
72	いつも漁師から魚をもらう。	icima ituman kara j'uu moroti
73	小さいカニは誰ももらわない。	gunjaka ganija tanma morowan
74	隣の家から大根ももらった。	subanu jaakara deekuni moroti
75	モズクをたくさんもらったからみんなに分けてあげた。	jassee teegee morotankja muuruni uiti neeti
76	喉が乾いたら水を飲む。	nuubinu kooracika mizi nomi
77	私の夫は酒を飲まない。	waa wutuja saki numan
78	叔父さんは病気だから、酒が飲みたくても飲めない。	wuzija bjookinaati saki numitjaatima numaran
79	ここの井戸水は飲める。	kumanu cingjoomizija numarjuri
80	お母さんが入れたお茶をたくさん飲んだ。	amaga iritan tjaa teegee nuudi
81	乗るなら飲むな。飲むなら乗るな。	nuri jaatika numuna numi jaatika nuran gon sii
82	お母さんは赤ちゃんにおっぱいを飲ませてあげた。	amaja baabaa t'jii numatji neetan
83	山羊もウシも草を食う。	jaagima usima kusa kami
84	山羊は濡れた草は食わない。	jaagija sittatan kusaja kaman
85	家で飼っている猫が魚を食った。	jaananti cukanotun majunu j'uu kadi
86	父が取った魚を猫に食われた。	azjaga tutan j'uu majuni kamati
87	毎日暗くなるまで、外で遊ぶ。	icima kuraku narjuntee sutunanti asibi
88	暗くなったら、誰も遊ばない。	kuraku naatikara tanma asiban
89	昨日はいとことかくれんぼ／おにごっこして 遊んだ。	kiinu itokotu kakubweku sii asidi
90	弟は酒を飲むと、すぐに酔う。	uttuja saki nuudika sun juuguriri
91	昨日も酒を飲んだので、酔った。	kiinuma saki nudatu juuguriti

92	兄はどんなに飲んでも酔わない。	miija ikjasaa nuudima juuguriran
93	彼は酔って、寝ている。	kun tʔjuu ja juuguriti ninduri
94	少ししか飲んでいないのに、酔ってしまった。	nangwadu nudamun juuguritiee
95	汚れた皿とお椀はお父さんが洗う。	jungwitan tjawansaraja azjaga aroi
96	私は兄さんに鍋を洗ってもらった。	wan.ja miini naabi aroti moroti
97	兄さんが私の代わりに洗ってくれた。	miiga waa kawari aroti kuiti
98	お母さんは料理を作るから、洗わない。	amaga rjoori cukurinati arowan
99	暑いときは帽子をかぶる。	acihan tukin.ja kubagasa kanbi
100	今は誰もくば笠をかぶらない。	jʔaaja tanma kubagasa kanban
101	昔はみんなくば笠をかぶった。	mukasi muuru kubagasa kandutti
102	いとこたちには帽子をかぶらせた。	itokonkjanin.ja boosi kanbatji
103	私は毎年孫たちにお年玉を上げる。	wan.ja mainen maagankjani otosidama neeri
104	去年はみんなに千円ずつ上げた。	kuuzu.ja muuruni sen.enzucu neeti
105	来年は二千元ずつ上げよう。	jaanija nisen.en zucu neeradee
106	お菓子も買ってあげよう。	kwasima kooti neera
107	祖父は毎日6時に起きる。	hussju icima rokuzi uiri
108	昨日は9時に寝て、8時に起きた。	kiinuuja kuzi nindi katjizi uiti
109	5時には誰も起きない。	gozija tanma uiran
110	高校生は制服を着る	kookooseeja seehuku kiri
111	その服は古いから誰も着ない。	un hukuja huruhamunnaati tanma kiran
112	昔は自分で織った芭蕉布を着た。	muutuja duusi utan basjagin kiri
113	その子は二歳になったから自分で 服を着ることができる / 着れる	unkkwaaja tʔaaci natankja duusi huku kirarjuri
114	ざぶとんにはいとこが座る。	zabutonnan.ja itokoga iri
115	床にはだれも座らない。	itjawakanan.ja tanma iran
116	私たちはここに座るから、きみたちは向こうに座れ。	waakjaja kumanan irjunkin ukkja amazi iri
117	きみもざぶとんに座ってください。	urima zabutinnan itji taboore
118	毎日祖父は海を見る。	hussjuja un nii
119	最近クジラを見ない。	nʔanben gunzja njan
120	昨日クジラを見た。	kiinuu gunzja niitji
121	お前も見たかったら見ろといって、孫に見させた。	urama niitjaatikara nii itji maagani njaatji
122-	※ 「ありがとう」という。	oboradaani tji ii

123	兄は何も言わない。	miija nuuma j'an
124	お母さんは弟に「あやまれ」と言った。	amaja uttunen ajamari tji itji
125	兄は弟に「いたずらするな」と言って、しかった。	miija uttunen itazurasurunatji itji noroti
126	弟は兄に「ばか」と言ってしまった。	uttuja miini bakatji itjieee
127	蟬はすぐに死ぬ。	zijaasun sini
128	人に「死ね」って言うてはいけない。	t'juunen sinitji itjika ikan
129	ゴキブリはすぐには死なない。	anbamusija sun.ja sinan
130	去年はひでりでカエルがたくさん 死んだ。	kuuzuujaa aataranu teegee sizi
131	暑くて、家のネコも死んでしまった。	acihati waakjajaanu majuma sizjandaa
132	この村には港がある。	kun muranan.ja minatunu ari
133	昔島には製糖工場があった。	mukasi simanan.ja seetookoozjoonu ati
134	製糖工場のあったところに学校を 建てた。	seetookoozjoonu atan toonan gakkoo tatitandaa
135	お金があればなんでも買える。	kaninu arisee siikaa nuujaren koowarjuri
136	今日はお金が無いから買いたくても買えない。	kjuua kaninu nenmunnaati kooitjaatima koowaran
137	人の命は金では買えない。	t'juunu inutjija kanisija koowaran
138	有っても喜ぶな。	attima hooraa siina
139	無くても泣くな。	needatima nakuna
140	人間の良し悪しは後でこそ分かる。	t'juu juraa j'aahaja atunaatidu wakarjuri
141	塩がない。	maasjunu nen
142	かまどの上にあったよ	ziirunu miinan atandaa
143	砂糖もなかった。	satama needati
144	無ければわたしが買ってこよう。	neeradatika waga kooti kuu
145	座敷には人がたくさんいる。	zasikinan.ja t'juunu teegee uri
146	あなたはしばらく台所にいてください。	uraja ikkjutan ee suizibanan uti kuiranna
147	さっきまで座敷に客がいた。	sakintee zasikini t'juunu uti
148	座敷にいた人たちがみんな帰った。	zasikinan utan t'juu muuru kaeti
149	みんなかえって今はだれもいない。	muuru kaeti j'aa tanma uran
150	若いころは那覇まで歩いた人がいた。	waahan kuruja kamizuntee attjan t'juunu utan
151	兄はお父さんに言われたら、何でもする。	miija azjani j'attikara nuu jarenma sjuuri
152	兄は言われなければ、何もしない。	miija j'aaranba nuuma san
153	兄はしなさいと言われたから、畑仕事をした。	miija siitji j'attatu hate sigjutu sjandaa

154	お父さんは兄に畑仕事をさせた	azjaja miini hatesiqjutu saatji
155	休んでないで仕事をしろ。	jukuiben sangon sigjutu siijaa
156	木の葉が詰まって溝の水が流れない。	kinhwanu cumaati jinzjunu mizinu nagariran
157	お母さんが兄さんに木の葉を取らせて水を流れさせた。	amaga miinen kinhwa turaatji mizi nagasatji
158	兄さんは木の葉を取って水を流れさせた。	miija kinhwa tuti mizi nagarirjungane sjandaa
159	ようやく(やっと)水が流れた。	jaatokatu mizi nagariti
160	この井戸水は飲めない。	kun cingjoo mizija numaran
161	誰でもこんなにたくさんのは飲めきれない	tan jatanten kasingan teegenu mizi numikiran
162	あく抜きした蘇鉄は食べられる。	akunukisjan suticija koowarjuri
163	腐った肉は食べられない。	kusatan sisija koowaran
164	ソーキ汁まだ残っているけど食べれる？	seebuniziru j'aama nootusiga koowarjunsee
165	腹いっぱいだからもうこれ以上は 食べきれない。	watanu mittjumunaati n'jaa ugassangan kooi kiran
166	溢れるくらいお茶を注いでくれ。	anbirjun hudu tjaa cuzi kuire
167	湯が沸くまで待てない。	juunu wakjuntee mataran
168	子どもだから、見せたくなかったけど、見るといって聞かなかったから、見せさせた。	waarenkja naati nisiritjakuneedatasiga niitji itji kikadatatu njaatji
169	三線を弾いて客に聞かせる。	sansiru hitji dusinen kikatji
170	祖母が自分で着せたいと言ったので、仕方なく孫に服を着せさせた。	hansjariga duusi kusiritjantji itjankjaa sikatanengon maag ani huku kusiratji
171	おととい買った服を赤ちゃんに着せる。	uttii kootan huku baabaani kiratji
172	お婆さんは自分が買った服をお母さんに頼んで赤ちゃんに着せさせた。	hansjarija duunu kootan huku amani tandi baabaani kus iti